授業科目名	日本語表現３	教員名	川越　勇二
		Eメールアドレス	ykawagoe@sky.miyazaki.-mic.ac.jp
授業形態	講義	オフィスアワー	授業終了後随時
科目番号	JEX3-2	担当形態	単独
単位数	２単位	配当年次	３年
アクティブ・ラーニング	対話を重視し、ペア・ワーク、グループ・ワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等の活動を行う。	卒業要件	必修
一般目標	・日本語への関心を高め、日本語の特質を理解する。【日本語への関心・理解】 ・さまざまな表現方法を理解し、自分の考えや心情を表現できる。【表現方法の習得・活用】 ・表現することを通じて、他者や社会とつながり、より良い生き方を探求する。【生き方の探求】		
到達目標	(1)話題や題材を生かし、情報を分析しつつ、論理的思考ができる。 (2)相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、意義ある討論を行い、論拠の妥当性を判断できる。 (3)論理の構成や描写の仕方などをさまざまに工夫して表現できる。 (4)日本語におけるさまざまな表現法を習得し、相手意識をもって話したり書いたりできる。 (5)読書の幅を広げ、読書に親しみ、自分の生き方を考えることができる。 (6)言語文化に対する関心を持ち、それらを尊重しつつより視野を広げることができる。		
授業の概要	価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中にあって、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が必要不可欠となっている。本授業では、日本語表現の多様性と豊かさを知り、日本語で適切かつ効果的に表現する能力の育成をめざすことを目標とする。また、実社会で必要不可欠な表現の方法や技術の習得にも努める。内容は、日本語表現と英語表現による作品創作、小論文の作成、エントリーシート・履歴書・志望理由書等の実務実践、面接や集団討論などである。対話を重視したペア・ワーク、グループ・ワーク、プレゼンテーションやディスカッションといった言語活動を繰り返す中で、実践的な表現力の育成をめざすとともに、国際人としての幅広い視野を持たせたい。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマ・ポリシーに掲げる「４．日英両語における高度なコミュニケーション能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。		
履修条件・注意事項	・講義には常に出席し、講義の時間に遅刻しない。 ・正当な理由（証明）のない遅刻については、1/2の出席とする。 ・講義の出席が３分の２を満たさない者は辞退とする。		
授業計画	第１回：授業概要説明・２年後期の活動と学び（目標(1)(2)(3)(4)） 第２回：文章表現の批評と創作①（目標(2)(3)(4)(5)(6)） 第３回：文章表現の批評と創作②（目標(2)(3)(4)(5)(6)） 第４回：文章表現の批評と創作③（目標(2)(3)(4)(5)(6)） 第５回：文章表現の批評と創作④（目標(2)(3)(4)(5)(6)） 第６回：小論文①（目標(1)(3)(4)(6) 第７回：小論文②（目標(1)(3)(4)(6) 第８回：小論文③（目標(1)(3)(4)(6) 第９回：小論文④（目標(1)(3)(4)(6) 第10回：自己分析・エントリーシート（目標(1)(3)(4)(6)） 第11回：履歴書・志望理由書（目標(2)(3)(4)） 第12回：自己紹介書（目標(1)(3)(4)） 第13回：面接（目標(1)(3)(4)）		

	第14回：ディスカッション（目標(1)(2)(3)(4)(6)） 第15回： 社会人としての日本語表現（目標(1)(3)(4)(6)） 定期試験：日本語表現に関する小論文
学生に対する評価	出席と授業への取り組み状況（３０%）・課題・レポート・発表（３０%）・定期試験（４０%）を総合して評価する。 なお、課題・レポート・発表等へのフィードバックについては、以下の方法による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに口頭で行う。 ・模範例を提示する。
時間外の学習について	・課題・レポート・発表資料については、必ず指定された日までに提出すること。 ・発表等の準備を周到に行うこと。
テキスト	授業時に適宜教材・資料を配布する。
参考書・参考資料等	随時、適切なテキスト・資料等を紹介する。